地域部会に同様の予算割り当てがあったが、本年度より、各会に必要な予算を申請してもらうことになっている。

活動状況と申請予算が釣り合っているか否かを確認する必要がある。（白井）

学会規定の謝金額が少ないため、旅費と謝金の支給を踏まえる招待講演者が多い。もう少し支給額を幅を持たせることはできない。（木野）

非学会員から参加費を徴収する必要はないのではないか。（白井）

会員の参加費無料は、会員のメリットであるので非会員からの参加費徴収は必須である。（白井）

会員を増やす目で初回を無料するのであれば問題はないだろう。（有田）

両会の代表が集まり、報告会を開くべきではない。（後藤）

総会開催時に、主査及び部会長が集まり、ミーティングを巡るははどうか。（有田）

両会の情報を共有すれば、研究会等の活性化につながるので、集会を持つきち。（有井）

予算は、申請通りに評議員会にて諮ることとした。また、総会時に研究会/地域部会のミーティングを巡る会となった。

6. AASBIのJSBI代替団員について

AASBI代替団員選出について宮野幹事からの次のような提案があった。現在、JSBIからの代替団員は、宮野信、松山隆、馬見塚拓の3名であるが、秋山会議員の退任がその後、新たなメンバーの選出が必要である。宮野の可能性を組み入れ、JSBI幹事がその任免の間代団員を務め、さらに5名に無理のないように組合せするという案はどうか。

代替団員は、AASBIの新であるのが望ましいため、会員が務めるのがよいと思う。（有田）

会長、副会長、会長の指名した人の3名はどうか。（白井）

会議出席のための旅費を学会から支給できると考える。（木野）

年度選出の時期を早めればどうか。（後藤）

本年度は、宮野信、馬見塚拓の2名に加え、後藤会長の就任が決まった。また、候補選出の時期については、今後も議論していこうとした。

7. 学会サーバ外部委託、ホームページリニューアルについて

平川幹事より、学会サーバの外部委託について提案があった。現在、東大医科の宮野研究室内に学会のサーバを置いているが、サーバの老朽化及び維持管理の負担が大きいこと、また、学会事務局の将来を考慮し、サーバを外部委託すべき準備中である。具体的には、ホームページ、データベース、メールサーバ、論文投稿システム（サインアップ）のすべてを宮野研究管理会に移すことになる。これを構え、ホームページと、会員データベースの改定・刷新する予定である。予算は、初期費用として150万円の予算を申請したい。また、来年度からの年間契約料は、60万円程度になる見込み。

ホームページは、事務局の移動の可能性や学会活動の活性化を視野に入れ、使い易いCMSで運用すべきである。（有田）

ホームページを会員が参加しやすい内容に改めたい。そのために、会員の便利を必要とする第一に考えてコンテンツをリニューアルしたい。（平川）

サーバを外部委託する場合、どこからでもアクセスができますことを前提に進めるべき。（白井）

それでも、サーバの外部委託が必要である。（有田）

コンテンツの整理は本年度中に済ませ、ほかの作業は来年度以降に回そう。（松田）

サーバの外部委託は、事務局の移動の可能性や、会員のアクセスのしやすさを念頭において、議論をしながら進めていくことにした。また、ホームページの改訂・刷新は、速やかに進めることにした。

8. 夏の学校について

本年度の夏の学校開催に関し、有田幹事から次のような報告及び提案があった。

『生命情報科学若手の会』に、夏の学校の開催を打診したが、色合いの反響がなかったため、新たに『定量生物学の会』との共催を検討しているもの。どうか。

特に異論はなく、夏の学校として大学院などの若手向けの共催イベントを企画することがとなった。

9. 学会の今後について

平川幹事より、学会設立10年目の節目の年に、学会の今後を考える機会を設けてはどうかと提案があった。

世代交代を踏まえて会員の交流の場を設け、学会の運営等について意見交換を、様々な意見を募りたい。（平川）

会員数の増加が頭打ちで、徐々に減少している現況であるので、会員数をいかに増やすか、収入源をどのように保つかを検討する時期である。（宮野）

事務局機能を東大医科研究宮野研に頼っている状況を検討すべきだろう。（後藤）

ホームページの充実を図り、学会の活動を分かりやすく伝え、会員の意見を吸い上げられるような環境を整えるべきである。（有田）

ホームページに研究室リンクを張ってはどうか。（白井）

学会のロードマップを作りはどうか。（白井）

過去の学会活動の総括に時間を費やすのではなく、バイオインカラマチ学を志す人が将来どんなことができるのか、ビジョンや方向性を示すべき、ロードマップを作るべき。（宮野）

ホームページにロードマップを掲載するのはどうか。（木野）

平川幹事を中心にロードマップ作成プロジェクトの立ち上げを、評議員会にて諮ることとした。